

医学系研究に関する情報公開について

西暦 2021 年 11 月 30 日作成

下記の研究は、福岡リハビリテーション病院の医療倫理委員会から承認され、病院長の許可を得て実施するものです。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

| | |
|------------------|--|
| 研究課題名 | 脳卒中患者の回復期における内服薬の傾向 ～ポリファーマシーを防ぐために看護師ができること～ |
| 当院の研究責任者 (所属) | 永岡 龍大(看護部) |
| 研究期間 | 病院長承認日 ～ 西暦 2022 年 3 月 31 日 |
| 調査データの該当期間 | 西暦 2021 年 11 月 30 日 ～ 西暦 2021 年 12 月 31 日 |
| 研究対象となる方 | 当院南 3 階に入院中の脳卒中の診断を受けた患者 |
| 研究の意義と目的 | <p>医学中央雑誌 Web で「ポリファーマシー」に関する原著論文は 18 件存在したが、「ポリファーマシー、看護」に関する原著論文は 1 件であった。これらの事から、看護師は業務において、患者への与薬やその後の観察を行い、検査結果などの客観的な情報から医薬品が適正に使用されるために重要な役割を担っているが、ポリファーマシーについて看護の視点から十分に検討されていない現状にある。</p> <p>そこで本研究において、脳卒中患者の内服薬の傾向を生理的ニードの観点から分析し、ポリファーマシーを防ぐために看護師が出来ることについて検討する。</p> |
| 研究の方法 | <p>調査研究</p> <p>調査方法:入院している脳卒中患者の内服薬について電子カルテから情報収集を行い、ロイ適応看護モデルを用いて生理的ニードの観点から分析する</p> |
| 研究に用いる試料・情報 | 【情報】 内服している薬剤名と錠数 |
| 外部への試料・情報の提供 | なし |
| 個人情報の取り扱い | 利用する情報は、匿名化(どのデータが誰のものかをわからなくすること)をします。個人情報を厳重に保護し、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も個人が特定されない形式で行います。 |
| 本研究の資金源 | 本研究に関連し開示すべき利益相反にある企業等はありません。 |

| | |
|---------|---|
| (利益相反) | |
| お問い合わせ先 | 福岡リハビリテーション病院 所属 看護部 担当者: 永岡 龍大 電話: 092-812-1555(代表) 対応可能時間 平日 9:00~17:00 |